

東京ガス株式会社と包括的な連携に関する協定を締結します ～持続可能なまちづくりに向け、連携した取り組みを推進～

千葉市と東京ガス株式会社は、地域の一層の活性化や地域課題の解決に向け、包括的な連携に関する協定を、令和6年6月5日に締結しますので、お知らせします。

また、同協定の締結式を行いますので、併せてお知らせします。

1 協定締結の目的等

本協定は、千葉市と東京ガス株式会社が、それぞれが有する資源、ノウハウを有効に活用することにより、地域の一層の活性化や地域課題の解決を図ることを目的としています。

千葉市と東京ガス株式会社は、これまでも災害時におけるガス災害防止対策の業務に関する協定、防犯への協力、ガスや環境問題をテーマとした市民向け講座の開催など、連携した取り組みを進めてきました。今回の包括的な協定の締結を契機として、脱炭素化の推進や安全・安心なまちづくりなど、幅広い分野において、連携した取り組みを進めていきます。

2 連携事項

- (1) 脱炭素化の推進に関すること
- (2) 環境・自然に関すること
- (3) 安全・安心に関すること
- (4) 健康・福祉に関すること
- (5) 子ども・教育に関すること
- (6) インクルーシブなまちづくりに関すること
- (7) 地域経済に関すること
- (8) その他、持続可能なまちづくりに向けた取り組みに関すること

3 協定に基づく新たな協働の取り組み

- (1) ゼロカーボンアクションの普及促進に係る協力
- (2) 環境学習重点実施校における出張授業の実施
- (3) 避難所の環境整備支援
- (4) ちばレポ参画による地域の見守り強化

○新たな協働の取り組み（実施を想定する具体的な内容）

ゼロカーボンアクションの普及促進に係る協力 R6年度から市職員を対象に開始したゼロカーボンアクション（脱炭素社会実現に向けた具体的な率先行動）の取り組みについて、今後、市民・事業者へ普及する手法の検討や、新たなゼロカーボンアクションメニューの創出	環境学習重点実施校における出張授業の実施 環境学習重点実施校（環境に関する理解や環境保全活動への参加意識の向上等を目的に、環境教育を実施する小・中学校）を対象に「食生活から学ぶSDGs」等をテーマに出張授業を実施
避難所の環境整備支援 東京ガス(株)とお茶の水女子大学が共同開発している、避難所のハード・ソフト面を診断し、見える化するサービスに関する診断項目の作成、市内避難所をトライアルで診断、避難所の環境を改善	ちばレポ(MyCityReport)参画による地域の見守り強化 ちばレポ(MyCityReport)（市内で発生している道路損傷、遊具損壊などの課題を、ICTを使い市民がレポートすることで、課題の共有、解決を図る仕組み）へのレポーター登録、投稿促進を図るなど、地域課題の発見、解決

4 協定締結式

(1) 日時

令和6年6月5日（水） 16:00～16:30

(2) 場所

市役所高層棟4階 市長応接室

(3) 出席者

東京ガス株式会社 常務執行役員 地域共創カンパニー長 小西 雅子 様
 千葉支社長 片野 伯則 様 ほか1人
 千葉市長 神谷 俊一

5 添付資料

千葉市と東京ガス株式会社との持続可能な地域社会の実現に向けた包括的な連携に関する協定書（案）

<参考> 東京ガス株式会社について

東京ガス株式会社は、1885年の創業以来、日本のエネルギー業界を牽引してきた国内最大手の都市ガス供給事業者です。「人によりそい、社会をささえ、未来をつむぐエネルギーになる」という企業理念のもと、暮らし、地域、地球の未来のためにエネルギーを提供しています。

